

SIPS 2021 年度定時社員総会 開催報告

2021 年 6 月 9 日、一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）の 2021 年度定時社員総会が、小島洋一郎代表理事の議長のもとにオンラインで開催されました。

6 月現在の SIPS 社員数（特別会員 6、幹事会員 7、正会員 11）24 の内、18 社員がオンラインで出席しました。

主な審議事項は次の通りです。

（1）2020 年度事業報告

2020 年当初より顕著になったコロナ感染症対策を念頭に、WEB 会議やレジストリ拡充による SIPS 活動への在宅参加を支援した上で、次の 3 つのタスクフォースによる活動を行いました。

① 国際連携タスクフォース

- 国連 CEFACT 日本委員会の下、国連 CEFACT における手法技術 PDA、国際サプライチェーン PDA、およびライブラリ管理チームに参加し、日本提案を含む標準の策定・保守と普及に貢献しました。国連 CEFACT への参加により、SIPS 及び日本企業が行った主な成果は次の通りです。
 - ◇ 国連 CEFACT 共通辞書へ日本提案を反映。
 - ・ 電子インボイスへの対応。
 - ・ 貿易運輸関連 EDI 実装への対応。
 - ◇ 日本主導プロジェクトを推進。
 - ・ 受信確認メッセージ策定（完了）
 - ・ XML メッセージ構築ガイドライン（完了）
 - ・ eNegotiation プロジェクト提案（開発中）
- AFACT 等を通じ、アジア各国の情報連携電子化状況とその取組みを調査するとともに、国連 CEFACT 標準に基づく SIPS ビジネスインフラの普及を図るため、オンラインによる AFACT 運営会議に参加しました。

② 国際／業界横断 EDI タスクフォース

- SIPS 提案情報項目を反映した最新版の国連 CEFACT 共通辞書（2020 年 A 版及び B 版）の日本語版を整備し、公開しました。
- 国内産業界の情報項目要件（国内税制改定、農業機械部品 EDI）に基づき、国連 CEFACT 共通辞書への追加・変更要求を提出し、そのハーモナイゼーションを実施しました。
- 国連 CEFACT 共通辞書を使用した国内使用メッセージ用のコード表を整備し、公開しました。
- 我が国主要業界標準である流通 BMS 標準と国連 CEFACT 共通辞書との

データ連携分析を進めました。

- 国連 CEFACT 準拠の中小企業共通 EDI 標準の整備を支援し、国連 CEFACT 共通辞書との整合化分析を行いました。
- 国内 DX 推進に関わる次のデジタル化分野につき調査を行いました。
 - ◇ 経団連「サプライチェーン委員会」の提言
 - ◇ デジタルガバメント実行計画
 - ◇ IPA（情報処理推進機構）による DX 認定制度
 - ◇ TDBC（運輸デジタルビジネス協議会）の動態管理プラットフォーム

③ 金流商流情報連携タスクフォース

- 当タスクフォースの審議は、国際／業界横断 EDI タスクフォースと合同で行われました。金流商流情報連携に注目して次の調査を行いました。
 - ◇ 欧州電子インボイス標準（EN16931）
 - ◇ デジタル通貨（デジタル円、デジタル通貨）
 - ◇ トヨタコイン及びトヨタブロックチェーンラボ

（2）2020 年度収支報告及び監査報告

コロナ感染症終息時期の不透明さからリスクを考慮した事業予算の執行を行いました。

2019 年度より繰越	¥ 1, 0 6 0, 0 4 2
2020 年度収入	¥ 3, 9 8 0, 0 2 1
2020 年度支出	¥ 4, 0 8 5, 6 2 5
2021 年度への繰越	¥ 9 5 4, 4 3 8

2020 年度事業報告書、財務諸表および収支計算書について監査した結果、いずれも適正であることが報告されました。

（3）2021 年度役員を選出

SIPS 役員の任期満了にともない、2021 年度以降の役員が選出されました。

理事（再任）	小島 洋一郎	（豊田商工会議所副会頭）
理事（再任）	菅又 久直	（ビジネスインフラ研究所）
理事（再任）	堀内 一	（UML モデリング推進協議会）
理事（再任）	兼子 邦彦	（SCCC リアルタイム経営推進協議会）
理事（再任）	遠城 秀和	（NTT データシステム技術株式会社）
理事（再任）	伊原 栄一	（株式会社グローバルワイズ）
理事（再任）	藤野 裕司	（EDI エバンジェリスト）
理事（再任）	香坂 真人	（株式会社 JSOL）
理事（交代）	柴田 鎮雅	（日本情報通信株式会社）

理事（交代）	杉山 恒司	（株式会社ウフル）
理事（新任）	柳 紀夫	（日本電気株式会社）
監事（交代）	秋田 潤	（一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会）

（４）2021 年度事業計画

昨年度より継続しているコロナ感染症対策を念頭に、WEB 会議やレジストリ拡充による SIPS 活動への在宅参加を支援するとともに、感染症終息時期の不透明さからリスクを考慮した事業予算の執行を行います。更に、感染症終息後の国際協調と貿易の動向変化及び IT 技術の利活用分野の変化や革新を見据え、今後の SIPS 活動につき役割や体制の見直しを含めた検討を行うこととします。

① 国際連携タスクフォース

- ▶ 国連 CEFACT 日本委員会の下、国連 CEFACT における手法技術 PDA、国際サプライチェーン PDA、およびライブラリ管理チームに参加し、日本提案を含む標準の策定・保守と普及に貢献します。
 - ◇ 国連 CEFACT 組織運営への協力
 - ・ アジア太平洋地域ラポータ：SIPS 菅又理事
 - ・ 技術仕様ドメインコーディネータ：SIPS 菅又理事
 - ・ 技術審査フォーカルポイント：SIPS 遠城理事
 - ◇ 国連 CEFACT 総会（オンライン）2021 年 4 月
 - ◇ 春季国連 CEFACT フォーラム（オンライン）2021 年 4 月
 - ◇ 秋季国連 CEFACT フォーラム（場所未定）2021 年 10 月（未定）
- ▶ AFACT を通じ、アジア各国の情報連携電子化状況とその取組みを調査するとともに、国連 CEFACT 標準に基づく SIPS ビジネスインフラの普及を図ります。2021 年はマレーシアが AFACT の議長国を務めます。
- ▶ 日本提案の国連 CEFACT プロジェクトを推進します。
 - ◇ 国連 CEFACT 技術仕様（CCBDA、NDR）修正プロジェクト
 - ◇ AI 連携のための電子交渉メカニズムの標準化プロジェクト
 - ◇ 企業間システム協同メカニズム策定のための新プロジェクト
- ▶ 国連 CEFACT 標準化プロジェクトに参加し、国内への適用につき検討します。
 - ◇ EDI の API 化プロジェクト（RDM2API）
 - ◇ 自動車業界スケジューリング改訂プロジェクト

② 国際／業界横断 EDI タスクフォース

- ▶ SIPS 業界横断 EDI 仕様の国際標準化推進
最新版の国連 CEFACT 共通辞書の日本語版を整備（2021 年版 A 版、2021 年 B 版）発行します。
- ▶ 産業界の要請により、国連 CEFACT 共通辞書への追加・変更要求を提出し

国際標準との整合化を図ります。

- ◇ 電子インボイス対応
- ◇ 中小企業共通 EDI 対応
- ◇ 農業機械部品 EDI 対応

- 国連 CEFACT 標準に準拠するコード表を整備します。
 - ◇ 国連 CEFACT 標準コード表の日本語化及び国内使用のためのサブセット整備
 - ◇ 国内業界で固有に策定するコード表及び ID 表の登録サービスの開始
- 国連 CEFACT メッセージ策定支援サービスを提供します。
 - ◇ 国内業界対応メッセージ表 (BIE 表) 策定サービス。
 - ◇ メッセージ定義から XML スキーマ生成サービス。
 - ◇ 定義メッセージに対する名前空間名提供サービス。
- データ連携基盤ソフトウェアを整備し、メッセージデータモデル間のマッピングが容易に行える仕組みを構築します。
 - ◇ データ連携のための、ソフトウェアに組み込めるビジネスコンポーネントライブラリを準備
 - ◇ EDI メッセージとビジネスコンポーネント間のマッピングソフトを検討
- 国内 DX 推進に呼応した新規プロジェクトの調査研究を行ないます。
 - ◇ スマート物流関連プロジェクト
 - ◇ 貿易情報連携プラットフォーム関連プロジェクト
 - ◇ 産業データ連携基盤関連プロジェクト

③ 金流商流情報連携タスクフォース

- 金流商流情報連携基盤の整備を推進します。
 - ◇ 支払通知メッセージ及びコード表の改訂
 - ◇ 全銀 EDI との連携推進
 - ・ MIME に EDI 種別識別番号新設
 - ・ CIEDI 登録サービスの提供
 - ・ ISO20022 導入ガイド改訂
- 国内 DX 推進に貢献できる、金流商流情報連携を活用した応用分野の可能性調査を行います。

(5) 2021 年度収支計画

2020 年度より繰越	¥ 9 5 4 , 4 3 8
2021 年度収入	¥ 4 , 0 8 0 , 0 2 0
2021 年度支出	¥ 4 , 0 6 4 , 0 0 0
2022 年度への繰越	¥ 9 7 0 , 4 5 8